

# 自立支援法案

## 見直し訴える

障害者ら大阪駅前で

国会で審議中の障害者自立支援法案の見直しを求め、障害者ら50人が1日、JR大阪駅前で「社会で自立して暮らしたい。私たちの声を聞いてほしい」と市民らに訴え

た。同法案は身体・知的・精神の3障害のサービスを一元化する一方、サービス量に応じて利用者に原則1割の自己負担を求めらる。

障害者団体によると、長時間介護の必要な重度障害者の場合、介護時間が減らされ、負担が増えるほか、外出や移動に必要な介護も制限されるなど自立に欠かせないサービスが十分受けられなくなる恐れがあるという。

NPO法人自立生活夢宙センター（住之江区）代表の平下耕三さん（38）は「障害者の生活が後退しないように、法案を修正してほしい」と話した。